

(1 1) 附属病院整備計画立案時の留意点及び建築的工夫

①附属病院整備計画立案時の留意点の具体例

第3章第2節3で整理した附属病院整備計画立案時の留意点について、本検討会で提案された具体例を示す。個々の附属病院の機能・役割に応じ、留意点が異なることに注意する必要がある。

※凡例（主な区分）

（教）：教育・研修機能充実への対応 （研）：研究機能充実への対応 （診）：高度で質の高い先進医療の実践への対応
（地）：地域貢献・社会貢献への対応 （国）：国際化への対応

【全体計画】

項目	主な区分
○学生及び研修医の臨床実習を行う診療科等の関係諸室の計画は、指導医及び想定の人数の学生等が在籍し、活動することを考慮した面積・形状を検討	（教）
○高度の医療技術の開発及び評価のための症例の解析においては、厳格な個人情報の保護が必要となり、また、治験データ等には真正性の確保が求められる。そのため、セキュリティレベルを適切に設定し、必要に応じ電子錠等による入退室管理、通路への監視カメラ設置、サーバー・LANを外部から物理的に遮断されたものとする等を検討	（研）
○防災対策や災害医療に必要な施設については、地方公共団体や他の医療機関等と協議を行い、運営時の連携体制も踏まえた計画を検討	（地）

【部門計画】

a. 外来診療部門

（外来診療部）

項目	主な区分
○患者のプライバシー重視や感染症対策の観点から、壁と扉で遮断すること等により、診察室の個室化を検討	（診）
○外来診療部や駐車場は、外来診療の運営と一体となつて、その規模が過大とならないように検討（特に、外来待合ホールは空調設備や照明設備等のランニングコストも考慮）	（地）
○デイスージャリー（日帰り手術室）部門は、手術部門との機能分担・連携を踏まえて規模や配置を検討（特に、患者や医療従事者、物品等の動線が交錯しないように配慮）	（診）
○近年患者数が増加している外来化学療法部門を計画する際は、地域での役割や将来の需要を見据えて規模や配置を検討。また、投薬による治療を通じ、「がん」に関する教育・研究の場としての利用も検討	（教）（研） （診）（地）
○外国人患者への対応として、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、受付等のインフォメーションや案内板、サイン等は外国語を併記した表示を検討	（国）

（救急部）

項目	主な区分
○高度救命救急センターやヘリポートの設置に際しては、具体的な運営形態を踏まえて検討。なお、これらの施設は地域連携・社会貢献の役割を担うことから、地方自治体との連携を強化し、当該自治体の補助金活用を検討	（地）

b. 病棟部門

（病室）

項目	主な区分
○患者の検診やベッドサイドティーチング等、医療従事者の教育の場としての役割を踏まえて規模等を検討	（教）
○新しい治療法や難治性疾患の研究、あるいは治験を通じた新薬の開発等の実践の場としての役割を踏まえて規模等を検討	（研）
○少子高齢化の進展に伴い、患者の安全性確保の観点から、転倒・転落防止対策やバリアフリー対策を検討	（診）
○患者のアメニティ向上の観点から、分散トイレの設置やシャワーの付設等、病室の水廻りを計画する際は、投資規模も踏まえて検討	（診）
○患者アメニティや治療への寄与の観点から、採光を取り入れることができ、樹木等の緑が見える外気に面した配置とすることを検討	（診）

(スタッフスペース)

項目	主な区分
○スタッフステーションは、看護を中心とした医療従事者の拠点であることから、各病室までの移動距離が短く、できるだけすべての病室が見渡せる配置にしたり、防犯上の観点から、階段やE Vに近接させる等、見舞客等の来訪者を確認できる配置を検討	(診)
○医療従事者の教育・研修や外国人留学生との交流に資するため、カンファレンス室等の配置を検討	(教) (国)
○医療従事者のためのアメニティ向上の一環として、休憩室や仮眠室等の配置を検討	(診)
○カンファレンス室は、各診療科等の勤務医、研修医、実習を受ける学生の人数を考慮して計画。また、患者のプライバシー確保の観点から、インフォームドコンセント (informed consent) に対応できる面談室等の配置を検討。なお、これらの計画に際しては、チーム医療の実践のためのコミュニケーションスペースやミーティング室との兼用も考慮	(診)

c. 中央診療部

(手術部)

項目	主な区分
○医療機器や手術に関わる医療従事者の他に、研修医等の教育・研修スペースも考慮して手術室の規模を検討	(教)
○近年増加傾向にあるハイブリッド手術やロボット手術へ対応する際は、将来の患者需要等を見据えた規模及び配置を検討。併せて、新しい治療法に関する技能教習の場として、医療従事者のためのシミュレータ室の計画を検討	(教) (診)
○再生医療を行う際は、治療のみならず、採取した細胞を培養する等の場合も含めて検討	(診)
○手術室への細菌等の侵入を防ぐため、「差圧ダンパー」を設ける等、周囲に対して陽圧を維持できる仕組みを検討。また、一足制を導入する場合には、ヘパフィルターを用いる等、空調性能も併せて検討	(診)

(特殊病床)

項目	主な区分
○患者のプライバシー重視や感染対策の観点から、特殊病床をオープンスペースに計画する場合には、各病床間をカーテンで仕切る等の配慮を検討	(診)

d. 管理部門

(管理・運営関連諸室)

項目	主な区分
○他の医療機関等との連携強化や、患者の入退院及び医療情報を一元管理し、病床コントロールも併せて行える、地域連携室及び入退院センター等の設置を検討	(地)
○カルテやレントゲン写真等の医療情報をペーパーにて保管する場合でも、その保管庫の集約化を検討 (個人情報保護への配慮から、I Cカードを設置する等、出入り口のセキュリティに配慮)	(診) (地)
○医療従事者のために、将来における職員数の増加や男女職員比率の変化を見据えて、更衣室や院内保育室の規模等を検討 (出入り口のセキュリティに配慮)	(診)

(福利厚生関連施設)

項目	主な区分
○食堂については、外来患者や見舞客等の外部利用のサービス向上や利便性の観点から、配置や規模等を検討	(診)
○売店、コンビニエンスストア等については、外来患者の他に、入院患者や見舞客等の利用も多いことから、集約して配置する場合には、外来診療棟と病棟の双方からアクセスしやすい配置を検討	(診)

e. 供給部門

(中央材料部)

項目	主な区分
○中央材料部は、手術部へ隣接あるいは上下階への配置を検討し、さらに滅菌済み器材や使用済み器材をパッキングして搬送しない場合には、「清潔」と「汚染」の専用動線でそれぞれ結ぶ必要も含めて検討	(診)

(薬剤部)

項目	主な区分
○近年増加傾向にある「治験」等の臨床試験に必要なスペースを院内に検討	(研) (地)
○教育や、医療現場における新薬開発の場として、検討	(教) (研)